



職場環境改善・年休取得制限の解決を！ 関連会社社員の労働条件の改善も要求 出向先との団体交渉実現

6月28日、出向先の労働条件改善を求めてSMTと団体交渉を開催しました。

ダイヤ改正を契機に作業が複雑になり設備・作業環境も悪化しています。「社員の体調を考え、職場環境を変える努力」を求め、「よりよいものにしたいと考えている」という回答を得ました。



昨年末から、多くの社員が退職するという状況が続いていることについて、会社側の認識を問い、労働条件の改善に力を入れるべきだと強く迫り、会社も「退職者が多いという認識はある」と答え「労働条件を良くすることは検討していく」ということを確認しました。

また、大勢の社員の退職により、数カ月年休の抑制が続いていることから、年休を取得できる要員確保を迫りました。

さらに、ダイヤ改正以降事業所が統合され、ロッカー、点呼場、詰所が狭いという問題について、ゆとりのある作業環境の実現を求めました。会社側も「要望はしっかり聞いておく」と答えました。

最後に「一緒に働く関連会社の方々の労働条件を向上させること、社員に還元できるような契約をしっかりとしてほしい」「社員の方々は、誇りを持って綺麗な電車をつくり上げている。会社はしっかりと応えてほしい」と強く主張しました。

出向先の職場には多くの問題が山積しています。問題解決のため、さらに声をだしていきましょう！